

# 農産物等の物流標準化の 取組について

---

令和 5 年 9 月 6 日

農林水産省

大臣官房新事業・食品産業部 食品流通課

# 青果物流通標準化ガイドライン

- 令和3年9月に、荷主団体、卸売団体、物流事業者等から構成される「青果物流通標準化検討会」を設置。
- パレット循環体制、外装サイズ、コード・情報、場内物流について議論を行い、令和5年3月にガイドラインを策定。

## ガイドラインの概要

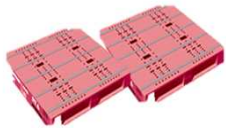
### ○ パレット循環体制

#### 1. サイズ・材質

- ・原則1.1m×1.1m（11型）
- ・プラスチック製を推奨

#### 2. 運用

- ・利用から回収までレンタルが基本
- ・パレット管理が不可欠。青果物流通業者の意識醸成が必要
- ・パレットの情報共有システムの構築・導入を推進



### ○ 外装サイズ

#### 1. 最大平面寸法

- ・最大平面寸法は1.1m×1.1m
- ・パレットからはみ出さないように積み付け

#### 2. 最大総重量

- ・プラスチックパレットの耐荷重を踏まえて1t

(積み付けの様子)



#### 3. 荷崩れ防止・品質劣化防止

- ・湿気による品質劣化を防止するよう、簡潔なラッピング

#### 4. 外装サイズの寸法

- ・品目ごとに標準となる段ボールサイズを順次設定。導入産地を順次拡大。

(荷崩れ防止策)



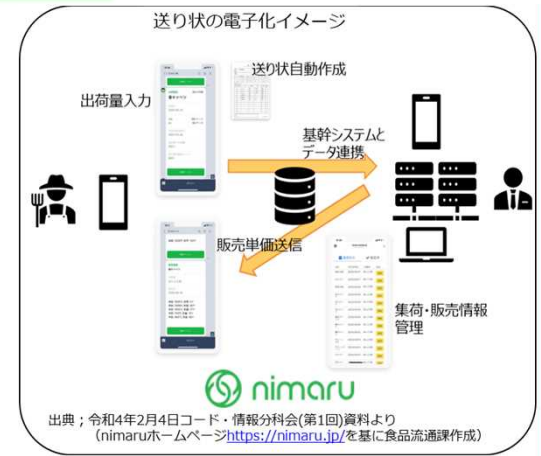
### ○ コード・情報

#### 1. 納品伝票の電子化

- ・送り状、売買仕切書を優先
- ・送り状・売買仕切書の標準的な記載項目を提示

#### 2. コード体系の標準化

- ・商品では青果物標準品名コード（JA全農のベジフルコード）を活用
- ・事業者では県連、JA、市場の事業者コードを活用



### ○ 場内物流

#### 1. トラック予約システム

- ・到着時間等を予約。荷下ろし待ち時間を削減。

#### 2. 場内物流改善体制の構築

- ・開設者を中心に、卸売業者、仲卸業者等による場内物流改善体制を構築
- ・市場内のパレット管理、荷下ろし等の秩序形成、法令遵守を促進



# 産地における11型パレット導入、外装サイズ変更の取組

- 各産地において、11型パレットの導入に向けて、11型パレットに効率よく積み付けできるサイズの段ボール箱試作や、輸送品質などを確認するための輸送試験を実施。
- 令和4年度は北海道・東北・九州の遠方産地において、重量品目または生産量の多い野菜を中心に取り組み、他産地の参考となるよう手順書を作成。
- 令和5年度は引き続き遠方産地を中心に品目を拡大し、果実についても取り組む予定。

## 遠方産地の重量野菜を中心に6道県で11型パレット導入に向けた実証を実施

北海道

ホクレン

### ◎かぼちゃの11型パレット輸送



バラ積みが主流かつ重量野菜であったかぼちゃに対し、11型パレットに合致した段ボールを試作



福岡県

JA全農ふくれん

### ◎JA域を越えた共同輸送



11型パレットに合致した段ボールを開発し、共同輸送



宮崎県

JA宮崎経済連

### ◎ピーマンの11型パレット輸送



ピーマンを対象に、11型パレットに合致した段ボールの開発と実証



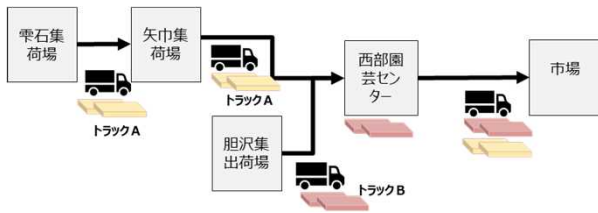
岩手県

JA全農いわて

### ◎複数JAによる積み荷の集約輸送



菌茸類・ホウレンソウについて品目を集約・混載した輸送試験の実施



熊本県

熊本大同青果



### ◎場内仲卸配送用パレット活用

専用パレットを仲卸も活用し、場内限りでのパレット循環の実証



鹿児島県

JA鹿児島経済連

### ◎抑制かぼちゃの11型パレット輸送



抑制かぼちゃを対象に、既存段ボールでの11型パレット積み付けの実証



**他産地の参考となるよう手順書を作成**

# 卸売市場におけるパレット管理意識の醸成に向けた取組

- 卸売市場では、これまで管理・返却が必要なレンタルパレットの紛失や目的外利用が多く、パレットが適切に管理されていない現状にあった。
  - そのため、ナッジ手法(※)を用いて卸売業者、仲卸業者等市場関係者のパレット管理意識の醸成を図るモデル実証を実施。
- (※) ナッジ手法：行動経済学に基づく仕組み等によって、個人が個人や社会が望ましい行動を自発的に選択するよう促す手法のこと。

## モデル実証の対象市場

- ・ 取扱金額、量販店配送や市場間転送の多寡、立地等を踏まえて2市場を選定。

大阪市中央卸売市場  
本場

横浜市中央卸売市場  
本場

## 実証内容

### ① チラシの配布・ポスターの掲示

- ・ ナッジ手法を活用したデザイン・メッセージにより、パレットの適切な管理・返却の必要性を効果的に訴えるチラシ・ポスターを市場内で配布・掲示。

### ② 参加型キャンペーンの実施

- ・ 管理・返却が必要なレンタルパレットがどれなのか、市場関係者に認識してもらうことを目的として、参加型キャンペーンを実施。
- ・ 具体的には、スマートフォンを用いて市場内のレンタルパレットを撮影することで特典がもらえるキャンペーンを実施。

➡ アンケート・ヒアリングや実証前後でのレンタルパレットの回収率の比較により、市場関係者の意識・行動の変化を検証した上で、**他市場への展開を図る。**



チラシ・ポスター図（表面・裏面）



チラシ・ポスターに記載のQRコードから参加

パレットを撮影

# デジタル化・データ連携の取組

○ 流通標準化ガイドラインを踏まえたデジタル化・データ連携の取組（パレット管理のためのシステム構築、納品伝票の電子化等）を支援。

## 全国農業協同組合連合会（東京都千代田区）

### 【背景・課題】

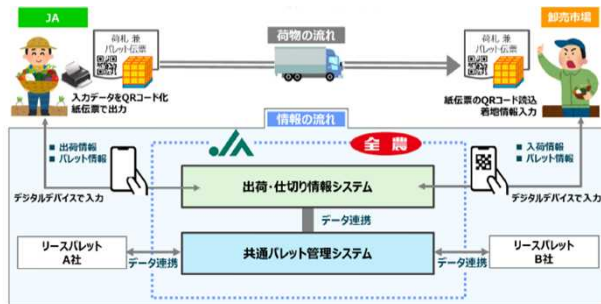
- 卸売市場にトラックが到着するまで、どこの産地の商品がいつ到着するのかが全く情報共有されていないため、荷下ろしから分荷までが無秩序に行われることとなり、慢性的な荷下ろし待ち渋滞と温度管理がされない状態での荷の放置が発生。

### 【事業を活用した実証内容】

1. 青果物のパレット流通を促進するため、各種パレットの所在と受払を可視化し、関係者間で共有できる仕組の構築
2. 出荷側の手間を考慮し、出荷情報と各種パレット情報とを一括管理できるデータ連携システムの構築
3. 産地と卸売市場間を対象とした商品・パレットの移送とデータ連携の実証試験を実施
4. 今年度は卸売市場と実需者間の実証試験を検討中

### 【事業の効果】

- 生産者、物流業者、卸売業者等の関係者が、出荷情報と各種パレット情報とを一括管理できるデータ連携システムを構築
- トラックドライバーの働き方改革に対応した労働時間の削減
- デジタル化・データ連携による集出荷、輸配送、商品管理、検収・分荷業務の効率化



## 京都やましろ農業協同組合（京都府京田辺市）

### 【背景・課題】

- 生産・流通事業者において、送り状の手書き作成、FAXによる出荷先及び運送会社への連絡、基幹システムへの手入力といったアナログな業務及びやり取りが多く、効率的でスムーズな農産物の取引につがっていない。

### 【事業を活用した実証内容】

- 生産者、JA、運送会社及び卸売会社が出荷情報をデータで共有し、事業者同士のシステムが異なるマスタ情報（コード）のマッピングを通して、JAや卸売会社の各基幹システムへ取り込める「青果物データ連携プラットフォーム」を構築し、データ入力業務を大幅に省力化

### 【事業の効果】

- 各事業者間で情報をデータで共有し、マスタマッピングを通して基幹システムへ取り込めるデータ連携プラットフォームの構築
- 生産者からの1件当たりの荷受データの入力時間を70%以上削減
- 卸売会社への1件当たりの出荷連絡に係る作業時間を80%以上削減
- JAからの荷受データの入力時間を70%以上削減等





# 卸売市場における場内物流改善の取組

- 全国の卸売市場（年間の取扱数量が3万トン以上）に対して、市場開設者を中心に、卸売業者、仲卸業者等による場内物流改善のための体制構築について働きかけ。市場内のパレット管理、荷下ろし等の秩序形成、法令遵守を促進。

	1 巡目	2 巡目
訪問実績	65市場	11市場

※令和5年6月時点

## 【地域別の内訳】

地域	実施状況		
	対象市場	1 巡目 訪問数	2 巡目 訪問数
北海道	3 市場（札幌市中央卸売市場 等）	1	1
東北	9 市場（仙台市中央卸売市場 等）	9	—
関東	21市場（東京都中央卸売市場大田市場、豊洲市場 等）	21	2
北陸	4 市場（金沢市中央卸売市場 等）	4	—
東海	3 市場（名古屋市中央卸売市場本場、北部市場 等）	3	1
近畿	10市場（大阪市中央卸売市場本場、東部市場 等）	10	3
中国四国	8 市場（広島市中央卸売市場中央市場 等）	8	2
九州	9 市場（福岡市中央卸売市場青果市場 等）	9	1

# 花き流通標準化ガイドライン

- 令和4年7月に、卸売団体、流通事業者等から構成される「花き流通標準化検討会」を設置。
- 11月以降は構成員に出荷団体、物流事業者等を加え、台車、パレット、外装、コード・情報について議論を行い、令和5年3月にガイドラインを策定。

## 1. 台車

- 産地の出荷拠点から卸売市場までの幹線輸送における手荷役解消のため、台車での輸送を推奨。
- 鉢物については、全国的に利用されているフル台車のサイズと実証実験で開発したハーフ台車のサイズを標準的な台車のサイズとして推奨する。



(写真左) フル台車 : W1055mm×D1285mm×H2068mm  
(写真右) ハーフ台車 : W520mm×D1280mm×H1900mm

- 切り花については、使用実態に応じ原則としてフル台車、ハーフ台車での輸送を推奨する。

台車の統一

## 3. 外装

- 標準の平パレット1,100mm×1,100mmに合わせ、例えば次のようなサイズの横箱段ボールの使用を推奨する。  
タイプA ; 長さ1,100mm×幅360mm×高さ260mm  
タイプB ; 長さ1,100mm×幅360mm×高さ173mm  
タイプC ; 長さ1,100mm×幅360mm×高さ130mm  
タイプD ; 長さ1,100mm×幅275mm×高さ130mm  
など



(写真はT11パレットに4種類の切り花標準箱を積み上げた様子▲)

- 品目特性を踏まえて、必要に応じて縦箱段ボールの使用も可能とする。
- 検品作業等が効率的になるようラベル等の表示の向きをそろえた積み付けモデルを推奨する。

段ボールサイズの統一

## 2. パレット

- 産地の出荷拠点から卸売市場までの幹線輸送における手荷役解消のため、パレットでの輸送を推奨。
- 平面サイズ1100mm×1100mm (下写真) を標準とする。



パレットサイズの統一

情報伝達方式の統一

## 4. コード・情報

- ペーパーレス化・データ連携を前提とし、帳票の標準項目を定める。

# 水産物流通標準化検討会

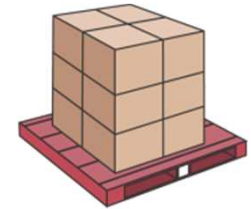
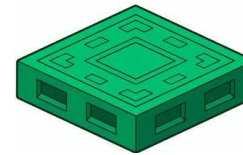
- 令和5年5月に、卸売団体、卸売業者、物流業者等から構成される「水産物流通標準化検討会」を設置。
- 我が国の水産物流通の大宗を担う東京都中央卸売市場豊洲市場を中心とした水産物流通を念頭に議論を行い、令和5年度中にガイドラインを策定する予定。

## 議論する検討項目

### ①パレットの管理モデル

下図参照

### ②標準パレットサイズ 積付けパターン



パレット管理



パレット管理

